

事務事業名	子育て世帯応援給付金給付事業		所属部	市民環境部	所属課	市民生活課			
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	生活グループ	課長名 宇田川 康司			
	施策名	〈25〉子育て支援の充実		担当者名	今岡 博美	電話番号:0854-40-1031 (内線) 2122			
	目的	対 象 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳)	意 図 A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。	予算科目	会計	款	大事業	大事業	子育て世帯応援給付金給付事業
	基本事業	〈073〉経済的支援の充実			項	目	中事業	中事業	子育て世帯応援給付金給付事業
目的	対 象 保護者等	意 図 子育てに係る経済的負担が軽減される。	1	0	0	5	0	1	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
低所得の子育て世帯(ひとり親世帯以外)	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を雲南市独自でより手厚く行う。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、特に厳しい状況にある低所得の子育て世帯の生活を支援するため、国で定められた児童一人当たり5万円の給付金に加え、雲南市独自で5万円を上乗せ支給する。 ①又は②に該当し、本給付金の支給日が属する月の初日に雲南市に住所を有する者 ①「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外分)を雲南市から支給決定を受けた者 ②「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外分)を雲南市以外から支給を受けた者
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
子育て世帯応援給付金の支給	特になし

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 支給世帯	世帯			99	
イ 支給児童	人			181	
ウ 給付額	千円			9,050	
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
事業費計	9,062千円	財源内訳	国庫支出金	千円			9,062	
・消耗品	4千円		県支出金	千円				
・通信運搬費	8千円		地方債	千円				
・交付金	9,050千円		その他	千円				
			一般財源	千円				
		事業費計	千円		0	0	9,062	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、低所得の子育て世帯に対し給付金を支給することにより、低所得の子育て世帯をより手厚く支援することができた。 【財源】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
② 事業実施するうえでの課題	高校生のみの子育て世帯は対象者の把握も難しいため、市のHPや公式ライン、告知放送などを活用するとともに、国県と連携した周知が必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	HPや公式ライン、告知放送を行いきる限りの周知に努めた。